

意見書案第 6 号

沖縄辺野古への米軍基地建設の断念を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

平成 27 年 6 月 18 日提出

提 出 者				
向日市議会議員	杉 谷	伸 夫		
	北 林	重 男		
賛 成 者				
向日市議会議員	飛鳥井	佳 子		
	和 田	広 茂		

沖縄辺野古への米軍基地建設の断念を求める意見書

現在政府は、米軍普天間基地の代替施設として、沖縄県名護市辺野古に新基地建設の工事を進めている。

しかし、この新基地建設に対しては、当該の沖縄県民は、昨年4度にわたる国政選挙・地方選挙のすべてにおいて、明確に「反対」の意志を表明した。昨年12月には、沖縄県議会が「県民の民意を尊重し、辺野古新基地建設断念を求める意見書」を可決し、国に提出した。現在、沖縄県知事・沖縄県議会・名護市長・名護市議会の地元自治体首長・議会のすべてが「反対」を表明している。

沖縄県民の民意は明確であり、普天間基地の無条件閉鎖・撤去と辺野古新基地建設の断念を求めている。

我が国は民主主義国家として世界にその範を示すべき立場であり、当事者である沖縄県民大多数の民意を押し潰すようでは、民主主義国家としてその根本が問われるのではないか。

また、この問題は決して沖縄県のみならず、日本の民主主義と地方自治の根幹にかかわるものである。

よって向日市議会は、政府に対し下記のことを強く要請する。

記

1. 沖縄県民の民意を重く受けとめ、辺野古新基地建設を断念すること。
2. 普天間基地の閉鎖・撤去についてアメリカ政府と速やかに交渉すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月18日

京都府向日市議会